

## 令和4年度 第3回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和5年3月3日（金） 午後1時30分 開会  
午後3時45分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者
  - ・町長 佐野 和広      ・教育長 入月 一巳      ・教育長職務代理者 山本 純司
  - ・教育委員 望月 正宏      ・教育委員 望月 聡美      ・教育委員 渡邊 正志
- 4 事務局等の出席者
  - 町長部局 秘書政策監 小倉 弘規      総務課長 渡辺 雄治
  - 教育委員会事務局 学校教育課長 近藤 利也      生涯学習課長 遠藤 賢
  - アルカディア課長 尾崎 龍次
- 5 協議事項
  - (1) 令和4年度教育委員会方針 ～特別重点施策の総括～
  - (2) 南部地区の小学校適正配置について
  - (3) その他
- 6 議事経過の概要
  - 次のとおり

### 1 開 会 （山本教育長職務代理者）

皆さん、こんにちは。昨日は非常に暖かく、もの凄く風が吹いて、山には花粉が舞ってという状況でした。今日こちらへ来る時に寄畑のところを通った時に河津桜が満開となっていました。地域によっては頼朝桜とも言うらしいですが、その様な中、第3回の総合教育会議を開催したいと思います。3月1日に開催された合併20周年の町長の挨拶の中に、新たなスタートという言葉がありました。更に積み重ねの上にまた、スタートをしていくという言葉だったと思います。この会議もその一助になればと思いますので本日もよろしくお願いいたします。

### 2 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。今の山本職務代理の話の中にもありましたが、一昨日の町政20周年記念式典が大勢の人の参加する中で盛大に行われ、その余韻がまだ残っている時ではありますが、今日は第3回目の総合教育会議ということでお忙しい中をお集まりいただきありがとうございます。3月に入って、令和4年度も大詰めの時期となってきました。1年の締め括りのこの3月は、よく教育会の方では、まとめと感謝、涙と感動、そして希望に胸弾む時、そんなことがよく言われます。各学校の方ではこの時期、児童会や生徒会の主催で卒業生を送る会が行われている最中です。そしてこの後、中学校では3月9日、小学校では3月22日に卒業式がそれぞれ行われることになっています。私が教育委員会に来て2年になりますが、その間にいろいろな事を感じてきました。一番大きなところは、自分が教員時代に静岡にいたのでなおさら感じるのかもしれませんが、予算面、人的面、物的な面など、

いろいろな点で南部町は恵まれていると感じています。ついこの間、新聞でも話題となっている中学校部活動の地域移行の関係で峡南地区の教育長会議が開催されました。市川三郷町の生涯学習センターで行われたのですが、しばらくそこで会合をした後、少し時間がありましたので施設の中と周りを観てみました。生涯学習センターは、図書館、体育館、交流館の3つの施設からなる複合的な施設で、市川三郷の町の中に本当にひっそりと佇んでいて素晴らしいなと感じました。この南部町と比べた時に、南部町の場合は、アルカディアという自然豊かな所にいろいろな施設があって、南部町民にとっても、アルカディアの如く、理想郷の如く憩いの場になっていて、町の良さを改めて感じるができる施設だと実感しています。歴史と文化と、そしてスポーツ、教育が大事にされている南部町、それだけに教育委員会としても期待に応えられるよう一流の田舎町、そして一流の教育を目指して頑張っていきたいと思います。今日は本年度最後の総合教育会議となりますが、議題は令和4年度の教育委員会方針の特別重点施策の総括と、南部地区小学校の適正配置についてとなっていて、今後の南部町の教育の根幹に関わる重要な議題となっています。先ほどの山本職務代理の話にもありましたが、20周年記念式典の町長の言葉で、これからは新しいスタートだという言葉が私にもすごく印象に残っています。教育についても同じことで、これからはスタートのつもりで南部町の教育を盛り上げていけたらと思っています。今日もその一点で、話し合いの方をいつもと同じように自由にご意見をいただいて活発に協議できたらと思っています。限られた時間ですが是非ともよろしくお願いします。

### 3 議事

#### (1) 令和4年度教育委員会方針 ～特別重点施策の総括～

[教育長が、令和4年度の教育委員会方針の特別重点施策の取組み状況及び教育委員会でまとめた評価書に基づき説明し出席者の意見を伺いました。]

#### 【令和4年度教育委員会方針の7つの特別重点施策】

- 南部地区小学校の適正配置の推進
- 住民の「生きがづくり」となる生涯学習の推進
- 住民の「生きがづくり」となる生涯スポーツの推進
- 子どもの「生きる力づくり」につながるICT教育の推進(1人1台端末の利活用の促進)
- 「ふるさと教育」の推進
- 地域と密着したコミュニティ・スクール(学校運営協議会)事業の推進
- 「あいさつ日本一の町」への取組

(山本委員) 今年度の特別重点施策をステップにして、来年度はいろんな事を具体化していくという方向性が見えてきたのではないかと思います。今年度末には生涯学習と子育て支援の部分で宮西達也先生に名誉館長に就任していただいたとか、いろんな事例と積み重ねが出来てきているのではないかと思います。全体的に考えると学校の場合は、ICT教育を情報主任会議で情報共有しながら歩みを一つ一つ確認しながら進めていると思いますし、教育長が進めているあいさつ日本一の町のところでも、各学校の方にも共通理解をいただいて、学校運営協議会で話題にしていることや青少年育成南部町民会議だよりが発行されたことなど、是非、学校と地域の人たちが融合するようなあいさつ運動になってほしい

などと思います。特に青少年育成南部町民会議を構成している各種団体の方々にも個人的な意見としては団体の活動として取り組んでいただけるとありがたいと思います。また、区長会の方でもご理解をいただいて、区の活動として取り上げていただくと学校と地域が一体となった取り組みができるのではないかと思います。学校運営協議会の中から出てきた意見が、このように実現に向かっていくということはとても良いことだと感じています。

(渡邊委員) 7項目の特別重点施策に取り組んできましたが、コロナ禍によって今年に限らずこの3年間は計画した事が思うようにできなかったのではないかと思います。特に生涯学習、生涯スポーツ、それから学校の中での行事などですが、その様な中でも実施できたものもありました。来年度はコロナが終息することを願いつつ、工夫しながら実施してきた今年度の成果を来年度の事業実施につなげられたらと思います。

(望月(聡)委員) ICT教育の推進のところですが、富士市とか富士宮市の知り合いのお母さんに聞いてみたところ既に毎日のようにタブレットを持って帰ってきて、宿題もそのタブレットの中にドリルが入っていてタッチペンを使って問題を解いて、丸付けも自動的にやってくれてそれをそのまま先生のパソコンに送信しているそうです。国語の音読の宿題も自分で読んでいるところを撮って、録画したものを先生のパソコンにそのまま送るということをやっているそうです。それにまず驚いたのですが、ただ私個人としてはそんなに便利になってしまうのもどうかと思うところがあります。やはり子どもが動画を撮るというのはあまり考えたくはないのですが、今は写真1枚でも悪いことに使おうと思えば使える時代になっていて、そういった面も心配ですし、やはり面倒くさくても親がしっかりと子どもが読むのを聞いて感想を書く、忙しい時は少し面倒だと感じることもあります。丸付けもしてあげる。そういった部分は少し残しておいた方が良いのかなと思いました。今各学校がICTをいろんな所で活用していて、この間の授業参観でも、6年生はパワーポイントのようなものを使って、中学校へ行って頑張りたいことについて一人ずつ前に出て説明していました。4年生については音楽を作るソフトを使って授業をしていました。非常に先生方の工夫が感じられるのですが、今後、持ち帰りが進んでくると、どこからどこまでを便利に子どもたちに全部やらせてしまうのか、親もしっかりと見なければいけない部分があると感じました。

(望月(正)委員) ICTの事に関連してですが、やはり全ての家庭にWi-Fiの環境が整わないと教育の機会均等が保障されないような部分があって、あと数件らしいですが、学校でも三者面談とかの機会を通じてお願いをしているようです。4月からは全ての家庭に整うことが見込まれていますが、そうした時に非常に便利なものなので、今、望月聡美委員が言ったように家庭に持ち帰って、それを活用していろんな学習をするのは凄く良い事だとは思いますが、それだけに頼るのではなくて、親が家庭学習に関わる事もすごく大事だと思いますし、それを忘れないでやっていく必要があると思います。ICTを使うとセキュリティとか、道徳的な部分が足りなくなるという懸念があります。そのようなところも現に情報主任会議などでしっかりと取り組んでいるとは思いますが、そういうところも大事にしていかななくてはならないと思います。あと私は学校関係を主に活動してきていますので、どうしても生涯学習とか生涯スポーツのことは分からない部分があるのですが、やはりその部分についてもチラシとかでしっかりと情報を得て、いろんなものにできるだけ参加してその内容や雰囲気とかを味わいながら勉強していきたいなという気持ちを持っています。

(教育長) 生涯学習とか生涯スポーツの事について話が出ましたが、1年間やってきて事務局としてどのような思いがあるか言っていただきたいと思います。

(事務局) コロナ禍によって3年間は思うように事業ができませんでしたが、そんな中、今年度は生涯学習課もアルカディア課も感染拡大に配慮しながら工夫しながらできるものは実施してきました。やはり中々、参加していただきたい訳ではありますが、思ったほど参加をしていただけなかった事業もあって、できるだけ周知はしているのですが、やはり大勢の方に参加していただきたい、実施した企画については職員が努力をしていますので参加していただいて評価はしていただきたいと感じました。

(事務局) やはり皆さんに参加いただくには、周知だと思います。チラシの全戸配布やFM告知放送で周知をしていますが、FM告知放送が若者世代の家庭には入っていないところもあって町内ですけれども届かないところもあります。今後はこの点をどうしていくか考えていかなければならないと思っています。あとは町のホームページでもお知らせはしております。今回の宮西先生の企画展を開催した時に一番感じたのはマスコミの力です。テレビや新聞に取材に来ていただけるといろんな所から足を運んでいただけます。遠い所では東京から宮西先生のファンの方とか、宮西先生の地元の清水町からもわざわざ来てくれました。今後も周知の仕方をもう少し工夫するように考えていきたいと思っています。

(教育長) 生涯学習、生涯スポーツのところでは周知の仕方が取り上げられました。南部町にとって私個人がすごく良かったと思うのは、宮西先生の名誉館長就任だったと思っています。子育て支援の面からも期待できますし、生涯学習の推進という点からも、図書館の推進、教育の面からも、すごい方に就任いただいたと思っています。是非これからよろしくお願ひしたいと思います。

(山本委員) 宮西先生が南部町立図書館の名誉館長になられたということで、子育て世代のお母さん方が喜んでいますが、読み聞かせのボランティアをしているグループの方々にも非常に良い取り組みだなということを感じていただいたのではないかと思います。やはりいろんな絵本を読んでいく中で、子どもたちをどう育ていくかという関わり合いをもっているボランティアの人たちにも良い励み、刺激にもなったのではないのでしょうか。そういう部分でいうとボランティアの広がりが出てくると町民総ボランティアではありませんが、何らかのものに町民それぞれが関わっていく、いろいろなものに関連づいていくと良いのかなとふと思いました。

(教育長) 宮西先生には町内の各小学校にも出向いていただきました。かなりの時間を取って6年生にはお話し会をしていただきました。それで終わりではなく当初の計画には無かったのですが園児たちが宮西先生の絵を描いたことをきっかけに突然でしたが両保育所にも出向いていただきました。これからもちょっとした工夫で随分と変わってきますので、教育委員会各課の事業実施にあたっては、工夫の仕方を考えていく、来年度に向けての課題としたいと思います。

(町長) 今、宮西先生の話が出ましたが、若い人たちにとっては本当にメジャーな方です。そのような方に南部町立図書館の名誉館長になっていただくことは画期的なことです。先生には大いに活躍いただいて、私が考えているのは、この南部町は子育てに関しては非常に力を入れている町であるということをお大いにアピールしたいと思っています。先生の企画展にはいろんな所から来館者が来ていますので、間違いなく南部町にとっては大きな力にな

ります。先ほどの話の中に周知の仕方といった部分が出ましたが、今はそのような時代で、その効果というものは本当に計り知れません。ましては今度、ふるさと納税の返礼品に宮西先生のここでしか手に入らない特別なグッズを入れる計画もあります。

(事務局) 昨日、初めて打ち合わせをしたのですが、先生に特別にデザインをしていただいたTシャツ、ポロシャツ、トートバックをふるさと納税の返礼品にしたいと考えています。これから企画をして進めていくことになりますので少し時間がかかるとは思いますが、南部町立図書館では第一弾として、ふるさとカルタを先行して返礼品に加えたいと思っています。

(町長) 宮西先生の名誉館長就任は、とても大きなインパクトになりますし、非常に大切にしたいところです。話は変わりますが、このところ南部町に転入する家族が増え、子どもの数が増えたとの報告がありました。今まで南部町がやってきたことが少しずつ知れてきたのではないかと思います。

(教育長) 今の町長の話の中にありましたように、令和4年度中に新しく入ってきた児童生徒が9名いて、出ていった児童生徒が5名います。ですから南部町の児童生徒数は今年度に入って4名増えています。この傾向が来年も再来年も続くことを期待したいと思います。本来は南部中学校の来年度の新1年生の数が40名でしたが、ここにきて42名となり、当初は1学級だったものが2学級になります。それにより、教職員の定数が決まっていますが、南部中学校の規模の場合は、1学級増えると教職員定数が2名増えることになります。2名増は非常にありがたいです。

(望月(正)委員) 子どもが転入してくるということはそれなりに南部町を評価していただいていると思います。南部中学校の新1年生の場合は2クラスになれば教員が2名増えるし、1クラスであれば2名減ってしまいます。学校にとっては非常に大きな影響があります。私は教育支援センターにいますが、未来塾をやっていると同時にチャレンジ教室もやっています。チャレンジ教室は不登校の子たちが通っていますが、今まで学校にもチャレンジ教室にも来ることができなかった子たちが最近ではチャレンジ教室に来てくれるようになりました。ですから家の中に引きこもっている子は徐々に減ってきていると思います。これも南部町にとって素晴らしい方向に進んでいると思います。聞くところによると行って良かったという評判が生徒、保護者からも出ているそうです。本来であれば学校へ通うのが一番良いのですが、それができない子たちがチャレンジ教室に通ってくるようになっていきます。

(山本委員) 支援センターの話が出ましたが、感想みたいなものですが、あるかないかと言えば、あった方が絶対に良いと思いますし、あることによって家にこもりがちな子が、違うところについて、違う人と会って、自分で勉強したり教えてもらったりという機会がどんどん作られる。ですから循環していくとか良い巡りになっていくという形が作られると思います。やはりさまざまな理由で学校へ行けない子どもは、全国で増えている状況ですが、その様な子たちに来なさいとか、行きなさいではなくて、こういう所がありますよ、ちょっと行ってみる。ということで、ここに来ると落ち着けるなというような子が何人かいれば、そこで友達もできるかもしれません。良い居場所づくりにもなっていると思います。心に重しがない状況を町に作っていただいていると思います。支援センターがあるというのは子どもたちにとっては非常に大きな場所であると思います。また、学校の方も連携しやすくなっているところもあります。支援センターがあることによって子どもの関係、学校の関係、一般の人の学校運営協議会との関係もありますので非常に良いところに支援センターがあ

って助かっているなど感じています。これも町の大きな教育施策の表れだと思います。私も随分前に支援センターにいて2人の子どもたちに社会科の授業をやっていました。久しぶりで楽しかったのですが、その子たちもやっていく中で自分なりに疑問を持つようになって、あれを調べたい、これを調べたいというような、行くことによって新たな自分を発見できるような、その様な場にもなっていくような気がします。そういう意味でいうと他市町村にも自慢できるような仕組みになってきていると思います。

(望月(正)委員) あいさつ日本一の町への取り組みについては今年度からの特別重点施策ですが、各学校の学校運営協議会でも話し合われ各地でも実践されるようになっていきます。子どもたちの様子を見てみると、手を上げて横断歩道を渡って、止まってくれた車の運転手に対し立ち止まって振り返り頭を下げるなど、このところあいさつが非常に良くなっています。今年度新しく掲げた特別重点施策の内の一つですが成果が出てきていると感じています。

(山本委員) 私が平成22年に富河中学校に勤務している時に、当時の渡辺校長先生がスローガンを作って道に掲げながら朝校門の前に立って子どもたちにあいさつをするのはもちろんですが、行きかう車に対しても会釈をしていました。私も折に触れて一緒に実践し、子どもたちも一緒に立って地域の人たちにあいさつをしていました。これを続けたことによって地域の人たちの学校に対する眼差しが柔らかくなってきたような気がしました。これは学校側の取り組みでしたが、地域の人たちと道で会った時には自然と言葉を交わせるようになっていました。これからは地域の人たちが子どもたちに積極的にあいさつするような取り組み、青少年育成南部町民会議や区長会などにも協力を得ながら皆であいさつをしましょうといった実践活動が相乗効果を生み、地域の雰囲気も変わってくるのではと思います。

(渡邊委員) 先週、栄小学校の学校運営協議会の中でもあいさつのことが話題となりました。校長先生が朝校門の前に立ってあいさつをしているのですが、最初の頃に比べて最近では子どもたちも通りかかった車の運転手も気持ちが伝わったのか、あいさつや会釈をしてくれるようになったと言っていました。これによって地域とのつながりも直接ではないけれどもできてきたということで非常に良かったと言っていました。課題としては地域の方々に学校の様子がどのように映っているのか見えにくいといった点で、今後は学校と地域とをつなぐような役割を学校運営協議会が担っていく必要があると感じました。いずれにしても子どもたちがあいさつを良くしてくれるようになりました。

(教育長) あいさつの取り組みについては令和4年度の新たな特別重点施策だったのですが、種が蒔かれた年だったと思います。これからまた来年度にかけてあいさつの輪が広がって、明るく住みよい南部町になれば良いと思います。いろいろと状況を見ながら広げていく、さらに深めていく、より工夫をしていく、この辺が今年度を総括して来年度に向けての一つの大きな課題になると感じました。

## (2) 南部地区の小学校適正配置について

[学校教育課長が、南部町立小学校適正配置に関する具申書の南部地区小学校の適正配置に関する具体的方策案について説明しました。併せて今後の課題となる栄小学校校舎の利活用について、睦合小学校のプールについて、スクールバス等について、睦合小学校の校舎改修について説明し、教育長がそれぞれの説明に対し出席者からの意見を伺いました。]

【南部地区小学校の適正配置に関する具体的方策案について】

(教育長) この方策案については、特に通学区域をどうするか、校舎をどちらにするかということで、毎月の定例教育委員会でも協議をしてきました。また、この総合教育会議の中でも出席者の皆様にご意見を伺ってきたところです。見直されたこの案をもって具体的方策案としたいと思います。

#### 【栄小学校校舎の利活用について】

(事務局) 旧富河中学校の校舎、旧万沢小学校の校舎のように地域の方々のご意見を伺う中で、良い方向で利活用ができればと思います。

(山本委員) 地域の人たちにとっては避難する場所が課題で、私は内船上区に住んでいますが、いざという時にどこに避難するかというと、自分の地区には分館もあるのですが、災害時には少し心配な面もあります。ではどこに避難するかというと一番近い所では分庁舎ということになりますが、しかし分庁舎にそれだけのキャパがあるかということそうは考えられません。内船上区には公民館もあるのですが、そこに収容できるかということ、とても大勢は収容できない。いろいろな要素があるので、このような意見は当然に住民の方々からは出てくると思います。そうすると防災避難の拠点としてどのような手当てができるかということになります。今ある各地区の防災の備品等も含めながら何人ぐらい避難できるかなど避難場所の提案があると分かりやすいと思います。

(渡邊委員) 関連になりますが、私は4年ほど前に内船上区の区長をやっていたのですが、一番の関心は防災のこと避難場所のことでした。内船上区では率先して区民の防災用ヘルメットを全員分購入して配布しています。当時、言われていたのが内船上区の公民館は耐震になっていないので避難させるのはどうか、その当時は総合会館もあったのですが、広くて良かったのですが、やはり耐震基準ではないということでしたので、そうすると最終的に栄小学校しかないということになりました。ただ、栄小学校は若干低い場所にあり、浸水地域にも位置しているので、2階から直接建物内に入出入りできればとの話もありました。ですから地域の人たちの集まりの場として、2階、3階は防災の拠点として使用していきたいという考えは地域住民の意向を反映しているものだと感じました。

(望月(正)委員) 防災の拠点として考えるのは良いことだと思いますし、地域の方々もきっとそう思うのではないかと思います。利活用という面からいけば今後は1階をどのようにするか考えていく必要があると思います。

(事務局) 旧富河中学校や旧万沢小学校の校舎と同様に、1階は地域の方々が集まれる場として考えていく必要があると思います。

(望月(正)委員) 今の段階で利活用方法についての考えはあるのでしょうか。

(町長) 私が以前お話をしました地域の方々の集まりの場として、そして、2階、3階は防災の拠点として使用していきたいという考えは基本的に変わりありません。今の段階で考えているのは、1階に関しては、総合会館やピュア峡南に小さめの部屋がいくつかあったと思いますが、地域の方々や各種団体の皆さんに集まっただけのような形で使っていこうかなと思っています。

#### 【睦合小学校のプールについて】

(事務局) 睦合小学校のプールについては、新設するかアルカディアのプールを有効活用するか、

管理の問題や天候による影響、利用回数等を多角的に検証しながら検討していくこととなりますが、現時点での皆さんの考えをお聞かせください。

(町長) 行政の立場からしますとアルカディアのプールを有効活用していただけると非常にありがたいです。富沢小学校にプールを新設しましたが大きな費用がかかっていますし、また新たに大きな投資をすることを考えると、地域住民の方々にご理解をいただきながらアルカディアのプールを有効活用してほしいと思います。上手に利用すれば可能だと思いますが、今年度の睦合小学校のプール利用状況はどうだったのでしょうか。

(事務局) 今年度実施した睦合小学校のアルカディアプールの利用についてですが、6月と7月の夏休みに入る前の6週に渡って、火・水・木の午前11時から12時までの1時間を2学年の児童と一緒に専用で利用しました。これには事前に利用者の皆様のご理解があったのですが、4月1日以降は町外者の利用も可能となってきます。この点につきましては、今年度同様に一般利用者の皆様にこの時間帯は小学校の児童が利用しますということを前もって周知することによって理解が得られるのではないかと考えています。

(望月(正)委員) 睦合小学校の水泳授業は、アルカディアのプールを利用して何年くらいやっているのでしょうか。

(事務局) コロナ前には一般利用者とレーンを分けて併用していました。コロナ禍になってからの睦合小学校の利用は今年度が初めてとなります。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって水泳授業での利用は全くありませんでした。令和3年度には、新設された富沢小学校のプールや栄小学校のプールを利用していました。限られた時間の中で移動に要する時間がかかってしまう事や、熱中症アラートによって、出来ない日などもあり計画していた授業をやむを得ず変更しなければならない日もあったと聞いています。アルカディアのプールを有効活用することができれば天候などにも左右されることなく計画的に授業が進められると思います。

(渡邊委員) 教員も水質検査などプールの維持管理には気を遣うところですし、利便性を考えるとアルカディアのプールを利用させていただいた方が良いのではないかと考えています。

(事務局) 事前に周知することによって毎年の睦合小学校児童の利用が、一般利用者の方々にも浸透、定着していくのではないかと考えています。

(望月(正)委員) 一般利用者の皆さんとアルカディアスポーツセンターの理解が得られれば、学校側としては本当に助かると思います。水泳の授業時間数も今年1年、この方法で実施してきていますので問題はないかと思っています。

(山本委員) 私も富沢小学校のプールでの水泳の授業を見させていただいたことがあります。すごく暑くて、照り返しがすごく1時間やるのは大変だなという現状を目の当たりにしました。それと子どもが町内の施設を使うということは、その子どもたちがいずれ町内の施設を使ってみよう、行ってみようという機会にもなりますので、アルカディアのプールを利用しての授業はとても良いと思います。

#### 【スクールバス等について】

(望月(正)委員) スクールバスの運行計画については定例教育委員会の中でも話し合いをしてきたところです。距離だけでいうと内船駅周辺からでも徒歩通学できる距離だと思いますが、強風などが心配される南部橋を渡らなくてはいけないことや児童の安全確保に努める必要



があるという観点からもスクールバスの方が良いのかなと思います。

(山本委員) 距離だけでは決められない難しい問題だと思います。

(町 長) 子どもたちにとってスクールバスのことについては非常に重要な部分ですので、購入や運行計画、また運転手の確保などもありますので交通防災課とも良く話をさせていただきたいと思います。

(事務局) 町営バスの利用が可能かなども含め交通防災課とも話し合いたいと思います。

(渡邊委員) 栄小学校にスクールバスの発着所を確保する場合に、栄小学校の校舎の利活用と併せて、バスの乗降場所や駐車場の確保などについて検討していく必要があると思います。

(教育長) スクールバスの件については、保護者や学校の意向、交通防災課との関係などについても話が出ました。今後しばらくは教育委員会の中で協議し煮詰めていきたいと思います。

#### 【睦合小学校の校舎改修について】

(事務局) 教育委員会としては、早めに調査設計に取りかかりたいと思っています。3階建てということもあり、富沢小学校のように夏休み期間中に授業に支障が出ないような状態で改修を済ませることができればと思っていますが、それが難しいとなると仮設校舎の設置も考えなければなりません。現時点での皆さんの考えをお聞かせください。

(町 長) 今はもうないかもしれませんが、これまでは改修の時に必要な資材が入ってこないというような事がありましたので、そこまでを考慮して少しでも早めに取り組んでほしいと思います。

(事務局) 水道や電気等の設備関係を改修に含むと少し期間が必要となります。

(望月(正)委員) 建てた年数から老朽化は進みますが、何かあった時にその都度修理するような形で良ければその方が安くて早くできると思います。

(山本委員) 私の経験だと旧富河中学校に勤めていた時に3階の屋上から雨漏りがあり、台風の時でしたが、2階の家庭科室が浸水で水浸しになって下の職員室に水が落ちてきたことがありました。たまたま電気系統には影響がなかったので良かったのですが、夜中に慌てて飛んで行って印刷機に傘を差した経験がありました。経年劣化ということを経験するといろいろな問題が出ますので、できればよくよく確認して改修したほうが良いのかなと思います。

(教育長) 貴重なご意見ありがとうございます。校舎改修の件についてもいくつかの課題が出ましたが、スクールバスの件と同様にしばらくは教育委員会の中で検討していきたいと思います。よろしく申し上げます。

### (3) その他

特になし

## 4 閉 会 (望月(正)委員)

長時間に渡りありがとうございました。特別重点施策の総括、南部地区の小学校適正配置について慎重審議をいただきました。統廃合の件については非常にデリケートな部分がありますが、過去の3つの中学校、万沢、富河小学校の統廃合の経験を生かし、南部地区小学校の統廃合についても町民の皆様にご理解をいただけるよう取り組んでいきたいと思っています。これで令和4年度最後の第3回総合教育会議を終わります。お疲れ様でした。